Kanachu

2016年３月期第２四半期
決算説明資料

2015年10月28日

神奈川中央交通株式会社

Kanachu

一般旅客自動車運送事業

乗合業においては、４月に戸塚駅・港南台駅～羽田空港線で上永谷駅および東戸塚駅への乗り入れを開始するとともに、成田空港第３ターミナルの供用開始にあわせ空港リムジンバスの同ターミナルへの乗り入れを開始し、利便性の向上を図りました。また、圏央道寒川北 IC～海老名 JCT 間の開通と相模原 IC の供用開始に伴い、中央自動車道方面へのアクセスが向上したことから、８月には藤沢駅・辻堂駅・本厚木駅～富士急ハイランド・河口湖駅線および町田駅・橋本駅～富士急ハイランド・河口湖駅線の運行を開始し、新たなお客様の獲得に努めました。さらに、前期における長津田駅北口ロータリー供用開始に伴う路線再編などの効果が通期寄与し増収となりました。

貸切業においては、「高速・貸切バスの安全・安心回復プラン」に基づく単価の見直しを前期より行ったことにより一車当たりの収入が増加しました。また、新規取引先を開拓し稼働率が上昇したことや、法人契約に基づく従業員輸送が通期寄与し増収となりました。

乗用業においては、伊勢原市内のタクシー会社を買収したことや、一車当たりの収入が増加したことなどにより増収となりました。また、高齢者や子育て世代の多様化するニーズに対応するため、４月より外出時の付添いや観光案内などを行う「さぽーとタクシー」のサービスを開始しました。

以上の結果、一般旅客自動車運送事業全体の売上高は 303 億６千１百万円（前年同期比 2.0%増）、営業利益は燃料費の減少などにより 24 億７千８百万円（前年同期比 63.5%増）となりました。

新規に運行を開始した富士急ハイランド・河口湖線

新規にサービスを開始した「さぽーとタクシー」

セグメントの概況（2）

不動産事業

分譲業においては、平塚市めぐみが丘にて宅地分譲が好調に推移したことなどにより増収となりました。

賃貸業においては、積極的な誘致活動により既存賃貸施設の高稼働率を維持し、安定収益を確保しました。また、前期に「相模原中央ビル」を一括賃貸から各テナントとの個別契約に変更したことなどにより賃料が増加しました。さらに、岩手県金ケ崎町の２ヶ所の太陽光発電所で８月および９月より売電を開始したことなどにより増収となりました。

以上の結果、不動産事業全体の売上高は 25 億８千１百万円（前年同期比 11.2%増）、営業利益は 12 億２千８百万円（前年同期比 1.8%増）となりました。

新規に売電を開始した神奈中岩手県金ケ崎太陽光発電所

新型モデルの「メルセデスベンツ　CLA シューティングブレーク」

自動車販売事業

自動車販売事業においては、商用車販売にて既存のお客様に対する営業活動を強化したことによりトラックの販売台数が増加するとともに、バスの販売台数も好調に推移しました。また、輸入車販売においても、モデルチェンジの効果やコンパクトカーの新型モデルの投入により新車の販売台数が増加するとともに、中古車の販売台数も好調に推移しました。

以上の結果、自動車販売事業全体の売上高は 144 億９千９百万円（前年同期比 26.8%増）となりましたが、商用車の販売台数の増加に伴う仕入原価の増により営業利益は３億６千６百万円（前年同期比 23.0%減）となりました。

セグメントの概況（３）

Kanachu

その他の事業

総合ビルメンテナンス業においては、積極的な営業活動により新築の大型商業ビルの清掃管理を受注し増収となりました。

レジャー・スポーツ業においては、「神奈中インドアテニススクール」や「神奈中スイミング」で体験教室や短期教室を開催し、お客様の獲得に努めたことにより増収となりました。

流通業においては、原油安の影響による燃料販売単価の下落やオートガス販売の減少などにより減収となりました。

飲食・娯楽業においては、９月に「らーめん花樂中津店」をリニューアルするなどお客様満足度の向上に努めました。また、「TSUTAYA La vista新杉田店」でゲーム・リサイクル商品の販売を開始するとともに、「愛甲石田店・港南台駅前店」でコミックレンタルのサービスを導入しましたが、前期に「富岡店」を閉店し、「追浜店」を事業譲渡したことにより減収となりました。

自動車整備業においては、前期における整備の特需からの反動により減収となりました。

ホテル業においては、宿泊部門で企業・団体への営業活動を強化したことや訪日外国人旅行者の増により稼働率が上昇しましたが、前期に中国料理「東光苑」狛江店を閉店したことにより減収となりました。

以上の結果、その他の事業全体の売上高は 142 億５百万円（前年同期比 7.0%減）となりましたが、レンタル業における仕入原価の減などにより営業利益は７億３千８百万円（前年同期比 15.1%増）となりました。

リニューアルしたらーめん花樂中津店

訪日外国人旅行者が増加したグランドホテル神奈中平塚

連結損益計算書（1）

Kanachu

単位：百万円

	2016年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減	摘要	2016年3月期 第2四半期期初予想 （2015年4月公表値）	増減
売上高	55,996	53,611	2,384 （4.4%）	自動車販売事業　＋3,065 その他の事業　△1,075	54,400	1,596 （2.9%）
営業利益	4,792	3,776	1,016 （26.9%）	一般旅客自動車運送事業　＋962	3,370	1,422 （42.2%）
経常利益	4,617	3,732	885 （23.7%）	営業外収益　△75 営業外費用　＋55	3,150	1,467 （46.6%）
特別利益	497	479	18 （3.8%）	受取補償金　＋189、固定資産売却益　＋164 投資有価証券売却益　△354	270	227 （84.3%）
特別損失	114	161	△ 47 （△ 29.3%）	固定資産除却損　△47	80	34 （42.8%）
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,082	2,324	758 （32.6%）		1,990	1,092 （54.9%）
1株当たり当期純利益	49.98円	37.59円	12.39円		32.26円	17.72円

減価償却費	2,693	2,774	△ 81	
EBITDA	7,486	6,551	934	※営業利益＋減価償却費

連結損益計算書（２）

Kanachu

売上高
自動車販売事業は、商用車販売においてトラック・バスの販売台数が増加するとともに、輸入車販売も好調に推移し増収。
その他の事業は、流通業において原油安の影響により燃料販売単価が下落したことなどにより減収。

営業利益
一般旅客自動車運送事業における売上高の増加や燃料費の減少などにより増益。

経常利益
営業利益の増加により増益。

特別利益

（１）固定資産売却益	１８６百万円	車両売却益等
（２）補助金	１００百万円	乗合バス購入補助金等
（３）受取補償金	２１０百万円	

特別損失

（１）固定資産圧縮損	９４百万円	補助金による圧縮損
（２）固定資産除却損	１９百万円	賃貸施設の設備更新に伴う除却損等

連結貸借対照表

Kanachu

単位：百万円

	2016年3月期 第2四半期	2015年3月期	増減	摘要
流動資産	17,211	17,487	△ 276 (△ 1.6%)	現金及び預金 △664 商品及び製品 +593
固定資産	124,545	125,129	△ 583 (△ 0.5%)	車両運搬具 +1,131 減価償却累計額 △1,461
資産合計	141,757	142,617	△ 860 (△ 0.6%)	
流動負債	43,645	48,419	△ 4,774 (△ 9.9%)	短期借入金 △4,652
固定負債	49,996	48,209	1,786 (3.7%)	長期借入金 +2,738
負債合計	93,642	96,629	△ 2,987 (△ 3.1%)	
純資産合計	48,115	45,988	2,126 (4.6%)	利益剰余金 +2,928
負債純資産合計	141,757	142,617	△ 860 (△ 0.6%)	

1株当たり純資産額	719.38円	687.62円	31.76円	
自己資本比率	31.3%	29.7%	1.6P	
有利子負債残高	48,464	50,378	△ 1,913	

連結キャッシュ・フロー計算書

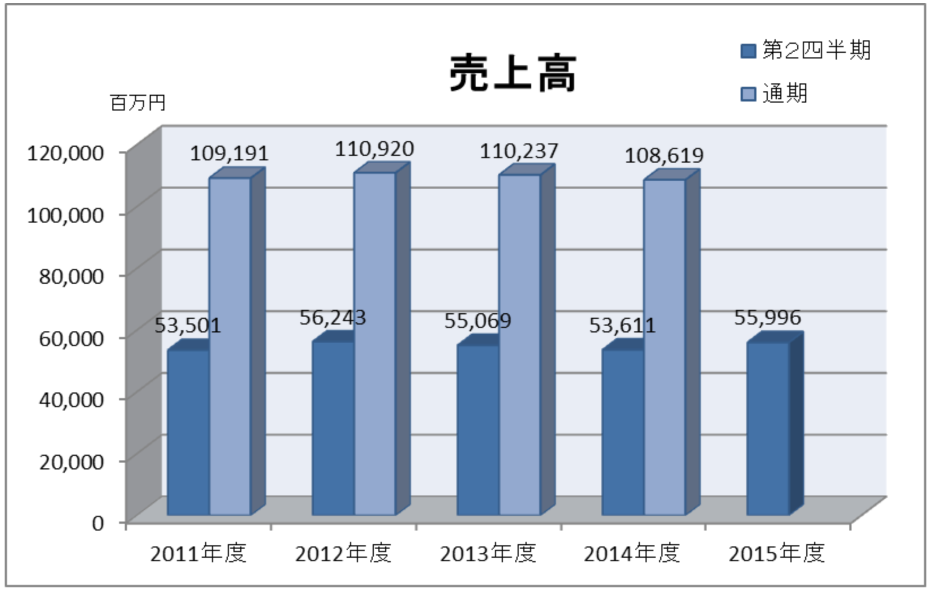
Kanachu

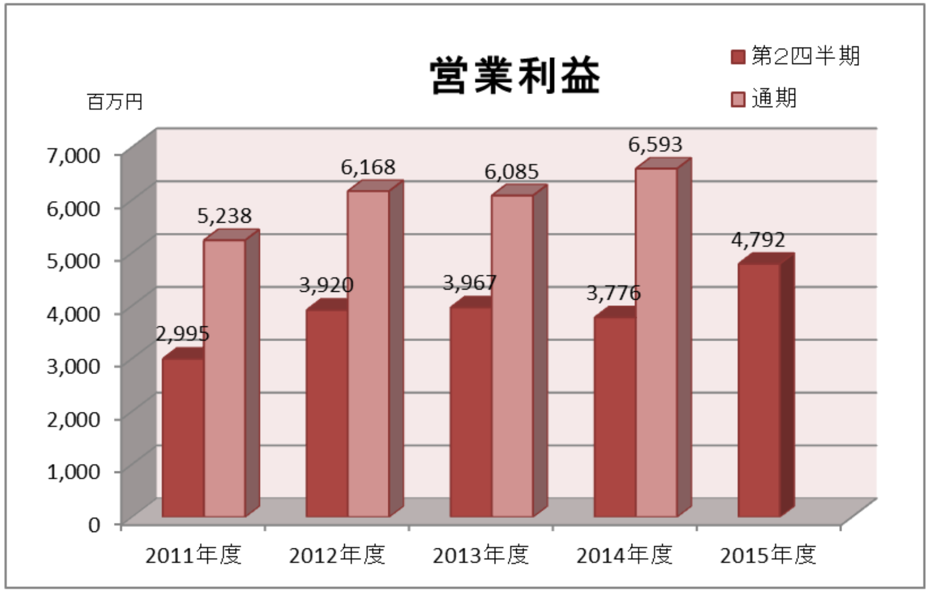
単位：百万円

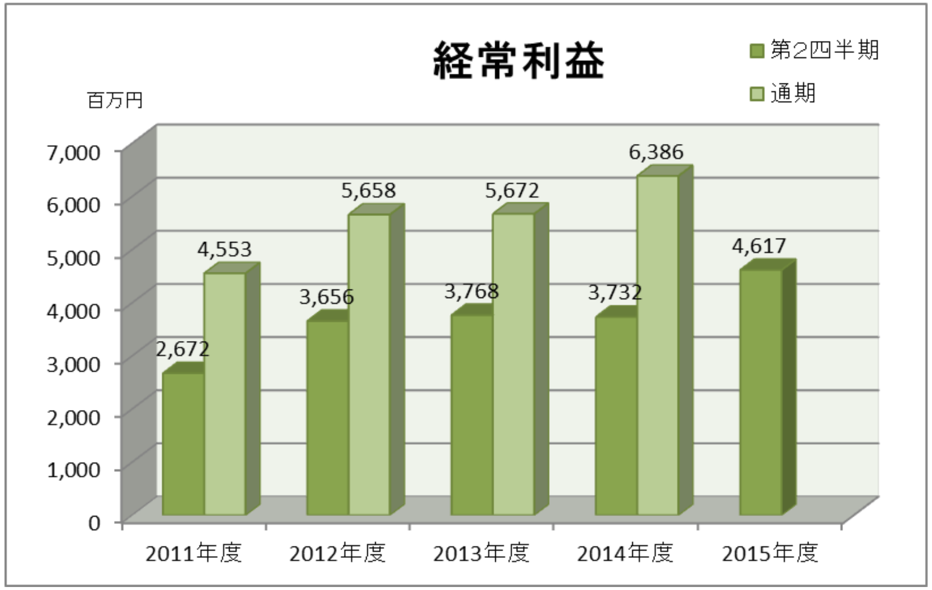
	2016年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減	摘要
営業キャッシュ・フロー	4,723	6,385	△ 1,661 (△ 26.0%)	未払消費税等の増減額　△2,211
投資キャッシュ・フロー	△ 2,939	△ 1,179	△ 1,759 (△ 149.1%)	固定資産の取得による支出　△1,628
財務キャッシュ・フロー	△ 2,448	△ 5,452	3,004 (55.1%)	借入金の増減額　＋2,897
現金及び現金同等物の増減額	△ 664	△ 247	△ 416 (△ 167.9%)	
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,716	2,053	△ 337 (△ 16.4%)	

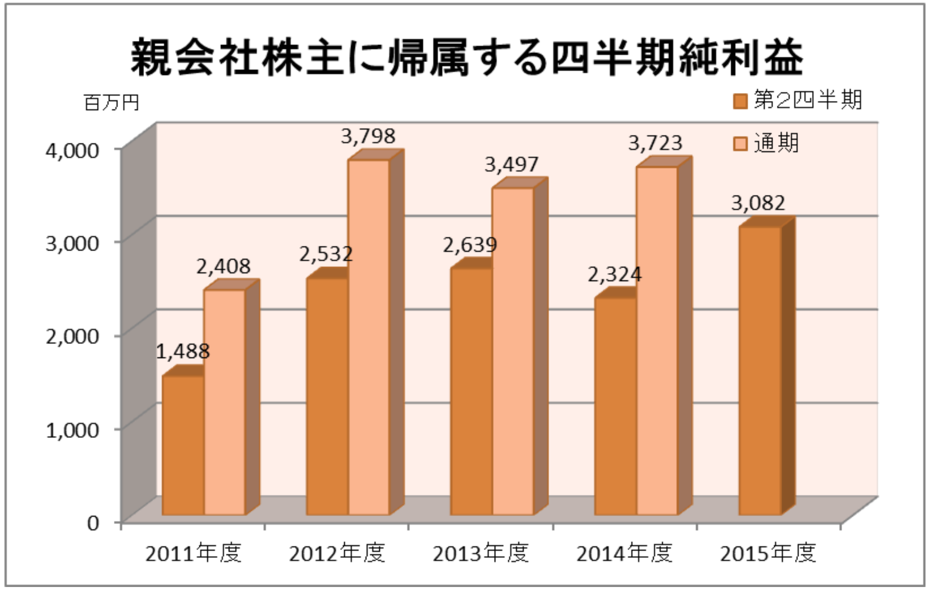
売上高・利益の推移

Kanachu









連結決算の範囲

Kanachu

神奈中グループ　　子会社２８社、関連会社３社

うち　連結子会社　　　　２８社

　　　持分法適用会社　　　２社（大山観光電鉄㈱、㈱小田急保険サービス）

≪主な連結会社≫

【一般旅客自動車運送事業】

神奈川中央交通(株)、相模中央交通(株)、神奈中ハイヤー(株)、神奈中観光(株)

【不動産事業】

神奈川中央交通(株)、相模中央交通(株)、神中興業(株)

【自動車販売事業】

神奈川三菱ふそう自動車販売(株)、神奈中相模ヤナセ(株)

【その他の事業】

神奈川中央交通(株)、(株)神奈中商事、(株)クリエイトＬ＆Ｓ、(株)アドベル、(株)神奈中情報システム、横浜ビルシステム(株)

セグメント情報（一般旅客自動車運送事業）

Kanachu

単位：百万円

	2016年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減	摘要	2016年3月期 第2四半期期初予想	増減
売上高	30,361	29,761	599 (2.0%)	乗合業　＋264 貸切業　＋109 乗用業　＋225	30,130	231 (0.8%)
営業利益	2,478	1,516	962 (63.5%)	乗合業　＋802 貸切業　＋32 乗用業　＋128	1,420	1,058 (74.6%)

【対前年】

売上高は、乗合業における輸送人員の増加や、貸切業における稼動の増加および単価の見直しによる収入の増加があったほか、乗用業において伊勢原市内のタクシー会社を買収したことなどにより増収。

営業利益は、上記増収に加え燃料費が減少したことなどにより増益。

※参考　乗合業輸送人員　　単位：百万人

	2016年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減率	摘要
定期外	93	91	1.9%	
定期	31	31	0.3%	
合計	125	123	1.5%	

セグメント情報（不動産事業）

Kanachu

単位：百万円

	2016年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減	摘要	2016年3月期 第2四半期期初予想	増減
売上高	2,581	2,322	259 （11.2%）	分譲業　＋100 賃貸業　＋158	2,520	61 （2.5%）
営業利益	1,228	1,206	22 （1.8%）	分譲業　＋7 賃貸業　＋14	1,070	158 （14.8%）

【対前年】

分譲業においては、平塚市めぐみが丘の宅地分譲の増加などにより増収増益。

賃貸業においては、積極的な誘致活動により既存賃貸施設の高稼働率を維持したことや、前期に「相模原中央ビル」を一括賃貸から各テナントとの個別契約に変更したことによる賃料の増加などにより増収増益。

セグメント情報（自動車販売事業）

Kanachu

単位：百万円

	2016年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減	摘要	2016年3月期 第2四半期期初予想	増減
売上高	14,499	11,434	3,065 (26.8%)	商用車販売　＋2,730 輸入車販売　＋335	13,510	989 (7.3%)
営業利益	366	475	△ 109 (△ 23.0%)	商用車販売　△120 輸入車販売　＋11	290	76 (26.2%)

【対前年】

商用車販売においては、既存のお客様に対する営業活動を強化したことなどによりトラックの販売台数が増加したほか、バスの販売台数も好調に推移し増収となったものの、仕入原価が増加したことなどにより減益。

輸入車販売においては、モデルチェンジの効果やコンパクトカーの新型モデルの投入により新車の販売台数が増加するとともに、中古車の販売台数も好調に推移し増収増益。

※参考　新車販売台数

単位：台

	2016年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減
トラック	982	792	190
バス	143	71	72
輸入車	212	183	29

セグメント情報（その他の事業）

Kanachu

単位：百万円

	2016年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減	摘要	2016年3月期 第2四半期期初予想	増減
売上高	14,205	15,280	△ 1,075 (△ 7.0%)	流通業　△891	14,350	△ 144 (△ 1.0%)
営業利益	738	641	97 (15.1%)	流通業　+44	610	128 (21.1%)

【対前年】

流通業において燃料販売単価の下落やオートガス販売の減少などにより減収となったものの、仕入原価が減少したことなどにより増益。

Kanachu

2016年3月期の業績予想

連結業績予想

Kanachu

単位：百万円

	2016年3月期	2015年3月期	増減	摘要
売上高	111,700	108,619	3,080 (2.8%)	自動車販売業　＋3,443
営業利益	6,680	6,593	86 (1.3%)	一般旅客自動車運送事業　＋532 不動産事業　△234
経常利益	6,350	6,386	△ 36 (△ 0.6%)	
親会社株主に帰属する当期純利益	3,730	3,723	6 (0.2%)	
1株当たり当期純利益	60.48円	60.28円	0.20円	

セグメント別業績予想

Kanachu

売上高

単位：百万円

	2016年3月期	2015年3月期	増減	摘要
一般旅客自動車運送事業	59,700	58,643	1,056	乗合業　＋412、貸切業　＋102、乗用業　＋542
不動産事業	5,730	4,780	949	分譲業　＋757、賃貸業　＋192
自動車販売事業	29,080	25,636	3,443	商用車販売　＋3,188、輸入車販売　＋255
その他の事業	28,760	30,408	△ 1,648	流通業　△1,195、総合ビルメンテナンス業　△145

営業利益

単位：百万円

	2016年3月期	2015年3月期	増減	摘要
一般旅客自動車運送事業	2,930	2,397	532	乗合業　＋436、貸切業　△76、乗用業　＋172
不動産事業	2,080	2,314	△ 234	分譲業　＋171、賃貸業　△405
自動車販売事業	480	618	△ 138	商用車販売　△105、輸入車販売　△33
その他の事業	1,250	1,330	△ 80	総合ビルメンテナンス業　△25

（参考）個別業績予想

Kanachu

単位：百万円

	2016年3月期 業績予想	2015年3月期 実績	増減	摘要
売上高	53,400	52,411	988 (1.9%)	分譲売上の増
営業利益	3,940	3,649	290 (8.0%)	燃料費の減
経常利益	3,840	3,504	335 (9.6%)	
当期純利益	2,940	2,457	482 (19.7%)	
1株当たり 当期純利益	47.67円	39.79円	7.88円	

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【問い合わせ先】

神奈川中央交通株式会社　　総務部

TEL　0463-22-8800